

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	人数、年齢に応じてクラス編成をしている。
	2	職員の配置数は適切である	児童発達支援管理者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荷物の置き場所、開けてはいけないドア等のルールが分かりやすく示されている。 ・ トイレが大人用の為職員が介助する等安全面の考慮が必要。更衣室が狭いことでこちらも職員が介助し、安全面の考慮をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	消毒や清掃は徹底している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	毎日朝礼終礼を行い、その中で行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	フィードバックや電話で保護者様と連携している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページに記載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在、外部による評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	定期的に研修をしている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	日々の変化を記録し、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者への関わりを目的とした個別療育、集団療育を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	子どもの支援計画にあったプログラムを作成し、支援している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	活動プログラムは複数の指導員が担当。ミーティング時に全員の指導員で話し合いながら課題に沿ったプログラムを作成。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者の課題や希望に沿った内容を考え、提供している。毎回、反省を重ね、より課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考えている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	個々の目標に沿った計画の立案をしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	毎日の朝礼で職員で打ち合わせを行い、共通理解を深めている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	毎日の終礼で内容の反省や子供の課題を話し合い共通理解を深めている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日支援内容、子供の様子は記録に残している。その内容や反省を元に次の支援内容を考えている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	半年以内にモニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	会議未実施。今後実施された際には参加していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	状況によって対応はしているが、常時取り組むというわけではない。今後必要に応じて行っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	状況によって個別に対応をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者からの要望がある場合、対応することはある。今後必要に応じて行う。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後必要に応じて参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	交流はないが、周知などで教室のことは知ってもらっている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	現在行っていない。今後必要に応じて参加を検討する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	状況によっては別日を設け、話をする機会を設けている。又は電話で対応することもある。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	フィードバックなどで情報は聞くようにしている。
保 護 者 へ	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に詳細を話しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	同意を面談時に得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	別日で話し合いの場を設けたり、電話で機会を設けたりしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する方には個別で情報の連携を案内している。 ・保護者会は行っていない。必要に応じ個別で情報を交換する案内はできる。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
の 説 明 責 任 等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応するように心掛けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は出していないが張り紙を掲示して発信をしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報の取り扱いには十分な注意を払っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	個々の特性や障害に応じて配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	特に行っていない。
非 常 時 等 の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	療育中に全クラスにおいて実施。また保護者に避難場所などが記載されたお便りを配布している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	療育中に全クラスにおいて実施。また保護者に避難場所などが記載されたお便りを配布している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	全職員が把握している。その日のミーティングで確認もしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	おやつ等の支援がないが、アレルギーは把握している。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	月1以上で改善ポイントを把握している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	内部研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	保護者に書面にて説明を行っている。また、個別支援計画にも記載している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17				<ul style="list-style-type: none"> ・子供の数に対して先生方の人数も多く配置されている印象です。先生方の指導も他の運動療育に比べスキルが高いと感じています。 ・神技のような補助で、とても自然に身体が動くからか、ストレスなくチャレンジできているように感じています。 ・子供1人に対して1人、または子供2人に対して1人など少人数制で対応してくれていて、助けが必要な子にはついてくれているので安心。 	児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16					
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	1				

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	16	1				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	1				
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17				・むずかしいことに挑戦してみたり、できなければ、また簡単な方に戻ったり、サポートしてくれる。	利用者の課題や希望に沿った内容を考え、提供している。毎回反省を重ね、より課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考えている。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		11	2	・コロナ禍でもあり、外部との交流がなくても特に問題ないと思います。	本施設では交流は行っていません。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17				・契約時に説明があった。	引き続き情報の共有をしていく。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	16			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9		5	3		

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	1			<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子や相談をした際にプログラムを工夫して下さったり、その後の様子を気にかけて下さったり、とても心強いです。 ・毎回終わった後にしっかり様子を教えてもらえます。 ・活動の様子や本人の気持ちなど詳しく伝えてもらっている。 	引き続き情報の共有をしていく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時はとても丁寧に親身に対応して頂けている。 ・育児支援はあまりない。というか、先生と話す時間が少ないので難しい。 	個別支援計画の面談が半年に一回ある。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		11	5		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15			2	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも、相談をすると真摯に対応して下さいます。 	引き続き、楽しんで通所していただける事業所を目指していく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	2				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1		2		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15			2		

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	16	1				
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16			1		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	16			1	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に楽しみに通っている。 ・毎週とても楽しみにしており、嫌がったことはありません！ ・楽しみにしています。運動が好きになったように思います。 ・通所の日の朝から楽しみにしています。 ・まだ通い始めたばかりで、しゃべることができないのでわからない。嫌がっている様子はない。 	引き続き、楽しんで通所していただける事業所を目指していく。
	23 事業所の支援に満足しているか	17				<ul style="list-style-type: none"> ・支援は大満足です！事務的なことはLINEになると嬉しいなという期待をしています！ ・先生方がとても優しく接して下さっているので安心して子供を預けられます。皆さん明るくてハキハキされていて、こちらも元気を頂きます。ありがとうございます。 ・満足です。 ・明るく丁寧に接してもらっているので満足している。 ・電話だけでなく、LINEやメールで連絡できるとありがたいです。 	引き続き、楽しんで通所していただける事業所を目指していく。また、来年度より、LINEでの連絡を開始する。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで子どもが多い時は、グループ分けをし、運動量が確保できるように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	児童発達支援管理者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	朝礼、終礼で全員でその日のあったことの情報共有をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	今後行う予定。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	会報はない。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価はない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	研修の機会はある。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	日々の変化を記録し、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動プログラムは複数の指導員が担当。ミーティング時に全員の指導員で話し合いながら、課題に沿ったプログラムを作成。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	利用者の課題や希望に沿った内容を考え、提供している。毎回、反省を重ねより課題を克服できるような楽しくて飽きない内容を考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	季節行事に沿ったイベントを行うこともある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個々の目標に沿った計画の立案をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日の朝礼で職員で打ち合わせを行い、役割分担を決め共通理解を深めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日の終礼で職員で打ち合わせを行い、クールの内容の反省や子どもの今後の課題を話し合い共通理解を深めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日、子どもごとに一言メモを記録するほか、職員一人一人のメモをファイルで保存している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年以内にモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	総則の基本活動の中の『地域交流の機会』については時間的な制約がある為、行っていない。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	担当者会議はまだ行われていない。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	保護者の要望や状況によって対応している。
	㉑	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	該当児童なし。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	状況によって対応している。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	本施設での卒業者はいない。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	特に受けたことはない。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	周知などでご連絡し本施設の紹介などしたことがある。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	コロナ過ということもあり参加できていない。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	フィードバックの際にその日の様子を伝えている。出来た事、今後の課題を伝えるようにしている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	フィードバックなどでご相談に応じたアドバイスなどしている。
保護者	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規定の内容や利用者負担額については契約時に説明を行っている。支援の内容も丁寧に説明している。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	フィードバックの際に保護者の思いも聞くようにしている。1人の判断で返答できない際はミーティングで職員で話しあい、その後対応している。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	希望者には個別で情報交換などの連携を案内していく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	職員で話し合い、速やかに対応するようにしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報なし。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	個人情報の取り扱いには十分な注意を払っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	個々の特性や障害に合った配慮をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	特に行っていない。
非常時等	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	契約時に保護者に説明するようにしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に療育中に全クラスにおいて実施。また保護者に避難場所などが記載されたお便りを配布している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	定期的に研修を設けている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 武蔵小杉教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
その 対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者に書面にて説明を行っている。また、個別支援計画にも記載している。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	おやつ等の対応はない。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	記録に残すとともに、繰り返さない為職員で話し合いの場を設けている。

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ

2022年度期

	チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	4		・人数が多い時は活動スペースがせまいと感じます。	人数や子どもたちの状況、年齢に応じてクラス編成をしている。また適切なスペースで運動できるように少人数のグループに分けるなど工夫している。また、フィードバックの場所の安全確認を工夫していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1		・いつもすばらしい支援ありがとうございます。	コロナの様子を見ながら、見学日数を増やしていくことを検討する。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	2			
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	23				
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	23			・毎回子供の様子や課題にあわせたプログラムにしていただけありがたいです。 ・即要望を取り入れて頂き、子どもが楽しめるように支援していただき本当にありがとうございます。	学校体育へ向けた内容から実際に学校体育の種目の達成を目指し、子どもが楽しんで取り組めるプログラムを考えている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	7	13	外部との交流はとくに必要ないと思う。今はコロナも不安なので。イベント時などにたくみの他教室との交流ならありかも。	本施設では交流は行っていない。
7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1		明細でわからない部分がある。	ご不明な点は都度質問を受け付けている。	

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ

	チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	1		・先生方と面談するタイミングがないので伝えそびれてしまうことが多い。 ・いつも丁寧なフィードバック本当にありがとうございます。	6ヶ月に1度の支援面談の他に、面談の希望を受け付けている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	2			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7	12		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	4			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23				
	13 定期的にホームページや会報等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	6	2		
	14 個人情報に十分注意しているか	20	3			
非常時等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	2			

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ

2022年度期

		チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23				
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	20	3		<ul style="list-style-type: none"> ・できないことがあるとTAKUMIさんでやりたい！！と頼りになる場所、先生達が大好きなようです。ありがとうございます。 ・通所の朝から楽しみにしています。 ・毎回とてもたのしみにしておりありがたいです。 ・行く前は「眠い、疲れた」等と言うこともありますが、レッスン後はいつも「楽しかった～！」と清々しい表情で話してくれます。 ・TAKUMIも先生たちも大好きです。積極的に通所しています。 	引き続き、楽しんで通所していただける事業所を目指してく。
	18	事業所の支援に満足しているか	23			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回細かく様子を教えていただけ、また困ったことや課題があると親身に寄り添っていただく姿勢にプロフェッショナルを感じます。子供にとってももちろん親にとってもTAKUMIさんはありがたい、頼りになる存在です。 ・満足です。 ・連絡先について、電話だけでなくLINEやメールがあるとありがたいです。 ・TAKUMIでの経験が体育の授業で活かしているようで、マットやサーキットを自信满满で楽しんでいるそうです。体幹もしっかりできて、走る姿勢も前傾だったのが改善されました。いつもあたたかい励ましを頂きありがとうございます！ ・1つも不満ありません。 	引き続き、楽しんで通所していただける事業所を目指していく。また、来年度より、LINEでの連絡を開始する。

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 武蔵小杉教室

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ

2022年度期

	チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
--	--------	---	---	---	-----	------------

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて

柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。